まよう犬 のおはなし

『アルフ　のまよう犬』
ゼリー・ヘンツ／文
岩波書店

☆☆

やんちゃなウルフリとふかきしいフルリーナのきょうだいがいかえしせんのなかでそれぞれぼうけんをするおはなしです。
「ウルフリのすず」と「フルリーナと山の鳥」はえほんでもたのしめます。

『ぼくもおにいちゃんみたいになりたいな』
アスト リッド・リンドグレーン／文
イロン・ヴィークランド／絵
徳間書店

☆☆

妹はいけないと言われたことばかりします。あぶないと言われたのに川へさかなをとりにいったり、おまつりでなんどもおなじのりものにのり、お金をつかいはたしてしまったり…。でもがんばりやなところもあるんですよ。

☆☆☆

『きかんぼのちいちゃいもうと』その１～３
ドロシー・エドワーズ／作
福音館書店

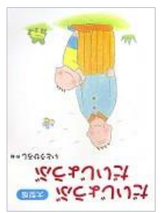
『おにいちゃん』
後藤　竜二／さく
佼成出版社

☆☆

『おねえちゃんって、
もうたいへんｉ』
いとう　みく／作
岩崎書店

☆☆

いろんなかぞく



『だいじょうぶ
だいじょうぶ』
いとう　ひろし／さく
講談社

☆

ふたりは、ぼくは毎日おじいちゃんと　さんぽにでかけています。あたらしいはっけんや　たのしいできごとがいっぱいです。だけど、それだけではありません。そんなときおじいちゃんは「だいじょうぶ　だいじょうぶ」とおまじないのことばを　かけてくれました。おおきくなったぼくが、こんどは　おじいちゃんに　おまじないを　かける　ばんです。

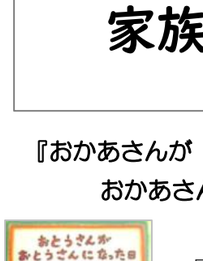
『ゆきみち』
梅田　俊作・佳子／さく
ほるぷ出版

☆

『おそうじをおぼえたがらない
リスのケルシュ』
ジャンヌ・ロッシュ・マッソン／作
福音館書店

☆☆☆

ケルシュがはおそうじがきてはありませんでした。おそうじをおぼえないでおばあさんリスに、家から出ていくように言われてしまいます。そんなケルシュがの前に、おそろしいオオヤミがあらわれケルシュがを食べようとします。
げんきなケルシュがと、ケルシュがを食べるため、あちこち走りまわるオオヤミとのやりとりが、おかしく楽しいおはなしです。



『ワニのシャルル
やってきた』
（シリーズあり）
ルーナー・ウェーバ／さく
理論社

☆

『じゃんけんのすきな
おんなのこ』
松岡　享子／さく
学研教育出版

☆☆☆

あるところに、とてもじゃんけんのすきな女の子がいました。だれとでもじゃんけん。なにをきめるにもじゃんけん。あさからばんまで、じゃんけんです。お父さんもお母さんもあきれ顔。とうとうだれもじゃんけんをしてくれなくなってしまいます。そこで女の子は右手と左手で、ひとりでじゃんけんをすることにしました。

読んだ本の☆をぬってみよう！

いくつぬれたかな？　　コ

2022.3 発行

～テーマ別ブックリスト～

家族っていいね

【1・2 年生】

『おかあさんが
おかあさんになった日』
ほか
長野　ヒデ子／さく
童心社

☆

みんなが生まれたとき、
かぞくはどんな「きもち」
だったのかな？

豊岡市立図書館

おかあさん おとうさん

すをつくるばしょをさがしていた、かものマラードさんとマラードおくさん。やがてぴったりのばしょを見つけて、８わのひなをそだてはじめます。ひながせいちょうすると、川からこうえんへひっこしをすることに。かもさんかぞくのだいこうしんがはじまります。ぶじにひっこしできるでしょうか。

『かもさんおとおり』
ロバート・
マックロスキー／さく
福音館書店　☆

『わたしのおかあさんは
世界一びじん』
ベッキー・ライアー／ぶん
大日本図書

☆☆

『あのね、わたしのたからものはね』
ジャニス＝メイ＝ユードリイ／作
偕成社

☆☆

小学１年生のジョーは、クラスで自分のたからものについてはっぴょうする時間でも、手をあげることができません。
しかしある日、とてもすてきなことを思いつきます。ジョーはみんなの前で、じょうずにつたえることができたのでしょうか。

『かあさんのいす』
B.ウィリアムズ／さく
あかね書房

☆

わたしは、かあさんとおばあちゃんと３人ぐらし。かじでなにもかもなくしてしまったけれど、みんなで少しずつ大きなびんにお金をためていって、いっぱいになったら、せかいいちすてきないすを買うのです。

（キリトリ線）　点線に沿って二つに折り、切り込みを入れてから線の位置で折りたたむと小さい冊子になります